



え？ 消費税増税？

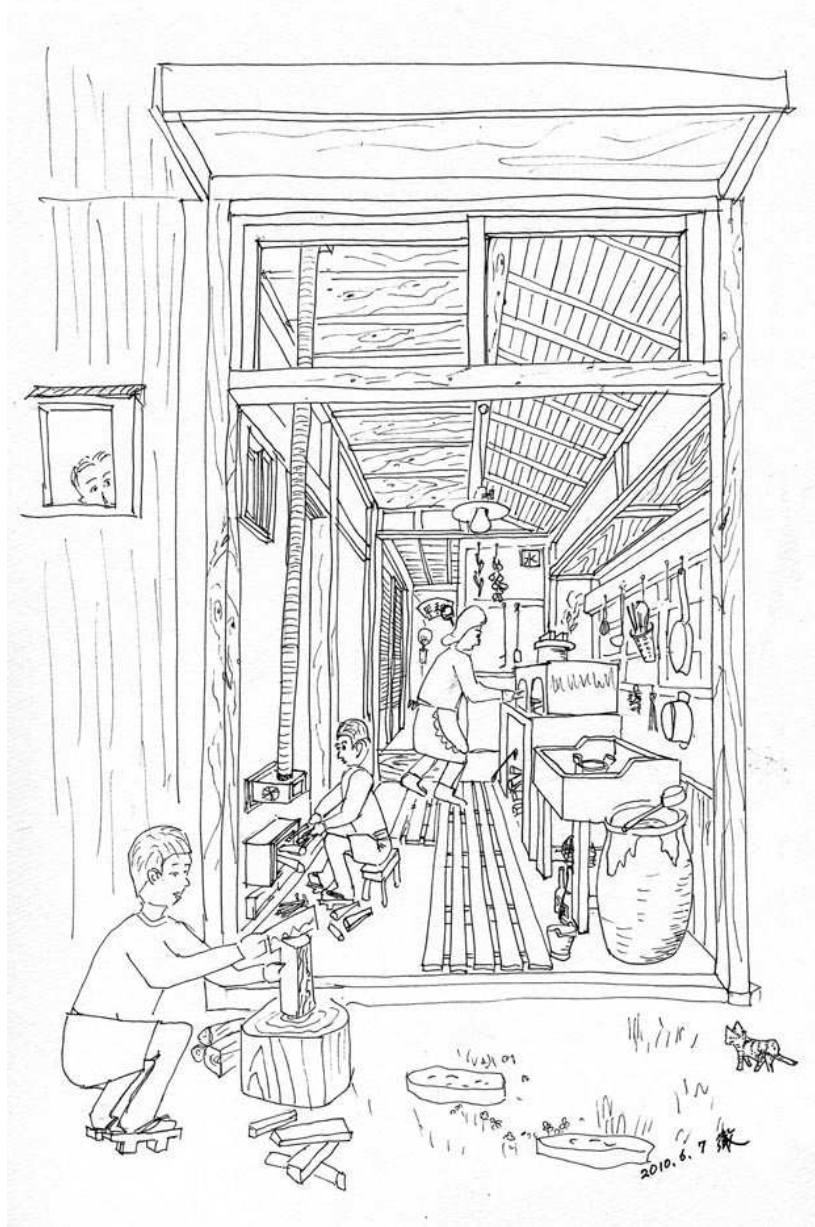
菅首相は、福祉の負担の為、消費税を増税・
・との話を始めています。

そもそも、消費税は「福祉の為」と云って導入されたのではありませんか？1989年に導入されてから、2009年までの20年間に納められた消費税の総額は213兆円。ところが、その間に法人税は183兆円も減税されています。又、高額

導入の前年1988年には60%でしたが、今では40%。株式の売買の儲けにかかる税は「特別措置」で僅か10%に。つまり、消費税は、法人税の減税、金持ちに適用される所得税の最高税率の引き下げ等に使われたのではありませんか？

「消費税は金持ちにも貧乏人にも消費支出には同じにかかるので公平」と云う人が居ますがそうでしょうか？低所得の人の収入の殆どは消費

支出になるので、収入の約5%は消費税になります。しかし、高額所得者は、所得の一部しか消費しません。例えば、2割だけ消費支出とし、残りを、貯金、株や、不動産を買うとすると、収入の2割にだけ消費税がかかり、結局、収入の1%程度しか消費税にならないのです。「消費税は低所得者に負担が大きい」とはこの事です。



「ぬるいぞ！ もっと焚いてくれ」

お父さんがお風呂から「おーい、ぬるいぞ、もっと焚いてくれ」と声を掛けています。
一九五二年から三年間、大磯の町外れの借家に住みました。これはその台所の絵です。小学校低学年の私は、三歳上の兄と薪割りをしたり、お風呂の火の番をしていました。ガスはありません。ご飯炊きも薪です。私は、母にご飯を焚くのを頼まれたり、お風呂焚きをしました。水道もありません。台所では、井戸水を流しの脇の甕に入れて、柄杓で汲みながら洗いました。お風呂の水は子供らが表の井戸から